

## LUGGAGE ROOM SHEET

Publication number: JP10329611

Publication date: 1998-12-15

Inventor: TANAKA MINORU; AOEDA KAZUHISA

Applicant: YUTAKA GIKEN CO LTD

Classification:

- International: B60N3/00; B60R5/04; B60N3/00; B60R5/00; (IPC1-7):  
B60R5/04; B60N3/00

- European:

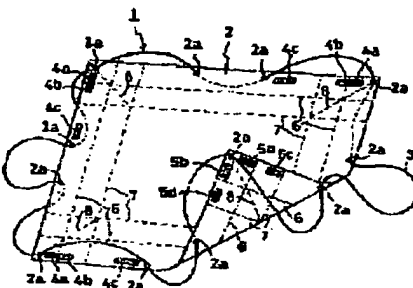
Application number: JP19970146451 19970604

Priority number(s): JP19970146451 19970604

Report a data error here

### Abstract of JP10329611

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily apply to various area of luggage rooms by folding a mainbody at corners to lock locking members thereto for providing the mainbody with four rising sides so that it can be formed into approximately boxed shape with the selectable locking member. **SOLUTION:** A mainbody 2 as a square sheet has eyelets 2a for every two corners and edges into which strings 3 are passed in sequence. The first and second folding edges 6, 7 and a diagonal folding edge 8 are provided. A surface male fastener 4a, the first surface female fastener 4b and the second surface female fastener 4c are provided outside of the first folding edge 6 and the first reverse and second male fasteners 5a, 5c and the first reverse and second female fasteners 5b, 5d are additionally provided. In the first usage configuration, the first folding edge 6 and the diagonal folding edge 8 are folded inside to stick the fasteners 5a, 5b and the fasteners 4a, 4b thereto. In the second usage configuration, the second folding edge 7 and the diagonal folding edge 8 are folded inside to stick the fasteners 5c, 5d and the fasteners 4a, 4c thereto. If the string 3 is fully drawn, a bag is formed.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-329611

(43) 公開日 平成10年(1998)12月15日

(51) Int. Cl.<sup>6</sup>  
 B 6 0 R 5/04  
 B 6 0 N 3/00

識別記号

F I

B 6 0 R 5/04 Z  
 B 6 0 N 3/00 Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平9-146451

(22) 出願日 平成9年(1997)6月4日

(71) 出願人 000138521

株式会社ユタカ技研

静岡県浜松市豊町508番地の1

(72) 発明者 田中 実

静岡県浜松市豊町 508 番地の1 株式  
会社ユタカ技研内

(73) 発明者 青枝 一久

静岡県浜松市豊町 508 番地の1 株式  
会社ユタカ技研内

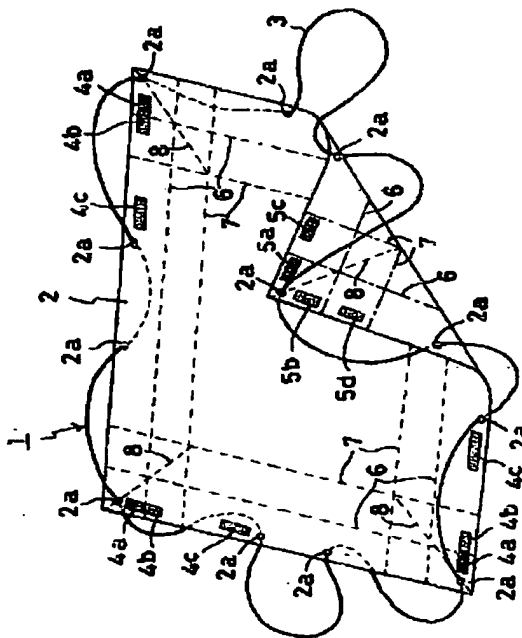
(74) 代理人 弁護士 中川 周吉 (外1名)

(54) 【発明の名称】 荷室用シート

(57) 【要約】

【課題】 アウトドア等に使用される器具類を車両のラゲッジルームに収納すればラゲッジルームが汚れてしまうおそれがあるため、行楽用シートを敷き詰めて固定したり、専用の保護カバーを取り付けたりしている。しかし、上記シートやカバーは設置に手間と時間を要し、また取り外しも容易でない場合が多い。

【解決手段】 上記課題を解決するために、本発明に係る荷室用シートは、略方形の可撓性及び防水性を有するシートからなる本体と、前記本体裏表の各隅の所定位置に取り付けられた複数の係止部材とからなり、前記本体の各隅を折り畳んで前記係止部材を選択的に係止させることにより前記本体の四辺を高さを選択して立設しうるよう構成したことを特徴とする。



(2)

特開平10-329611

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 略方形の可撓性及び防水性を有するシートからなる本体と、前記本体裏表の各隅の所定位置に取り付けられた係止部材とからなり、前記本体の各隅を折り畳んで前記係止部材を係止させることにより前記本体の四辺を立設しうよう構成したことを特徴とする荷室用シート。

【請求項2】 前記係止部材を複数設けて選択的に係止させることにより、前記本体の立設させる四辺の高さを選択できるよう構成したことを特徴とする請求項1記載の荷室用シート。

【請求項3】 前記本体の縁部に紐状部材を通して構成したことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の荷室用シート。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】本発明は車両のトランクやラゲッジルーム等の荷室に各種道具を収納する際に汚れ又は濡れを防止するために設置するシートに関するものである。

【0002】

## 【発明の属する技術分野】

【0003】

【従来の技術】近年アウトドアが一般的なレジャーとして様々なフィールドで楽しまれており、その用途から数多くのRV車両が発売され、実際に販売台数は年々増加している。このようなアウトドア、例えばスキー、キャンプ、釣りなどに使用される器具類は、汚れていたり、濡れていたりする場合が多く、これを車両のラゲッジルームに収納すればラゲッジルームが汚れてしまうおそれがある。

【0004】そのため従来はラゲッジルームを保護するために、汎用の行楽用シートを敷き詰めてガムテープで車両に止めたり、紐で固定するなどして使用していた。

【0005】またラゲッジルーム専用の保護カバーも各種提案されている。これらの多くはラゲッジルームに適した形状を有するシート材を、座席や専用のフックに紐などにて取り付けるものである。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記の如く汎用の行楽用シートを用いる場合には、設置に手間と時間を要し、またテープや紐などの必要な備品を別途準備する必要がある。

【0007】また専用のラゲッジルーム保護カバーは上記行楽用シートに比して取り付けが容易に行えるようになっているものの、車両本体の複数箇所に紐を取り付けたりする必要があるため、やはり設置には手間と時間を要する。また常設に近い使用をするよう構成されているものもあり、取り外しも容易でない場合が多い。またRV車を前提にした形状に形成されているため、例えばセダン系の車両のトランクにこれを取り付けることは困難であった。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明に係る荷室用シートは、略方形の可撓性及び防水性を有するシートからなる本体と、前記本体裏表の各隅の所定位置に取り付けられた係止部材とからなり、前記本体の各隅を折り畳んで前記係止部材を係止させることにより前記本体の四辺を立設しうよう構成したことを特徴とする。

【0009】また前記係止部材を複数設けて選択的に係止させることにより、前記本体の立設させる四辺の高さを選択できるよう構成したことを特徴とする。

【0010】また前記本体の縁部に紐状部材を通して構成したことを特徴とする。

【0011】

【発明の実施の形態】本発明に係る荷室用シートの実施形態を、図を用いて説明する。図1は本実施形態に係る荷室用シートの全体図、図2は第一の使用形態を説明する図、図3は第二の使用形態を説明する図、図4は第三の使用形態を説明する図、図5は第一の使用形態における使用例を示す図、図6は第二の使用形態における使用例を示す図である。

【0012】図1に示す荷室用シート1の本体2は可撓性及び防水性を有する方形のシートであり、各隅、及び各縁に二つずつハトメ2aが取り付けられており、これに紐状部材である紐3を順に通して構成されている。

【0013】また、第一の使用形態に於いて折る折り目を第一折目6、第二の使用形態に於いて折る折り目を第二折目7、また各隅に置いて対角線上にある折り目を対角折目8と称する。図に示すように、第一折目6は方形の本体2の縁部と平行に、全周に渡って配置されている。また第二折目7はこれよりさらに内側に、第一折目6と平行に配置されている。なお、図中にて山折りする部分は一点鎖線にて示し、谷折りする部分は破線にて示す。

【0014】さらに本体2の各隅には、表側及び裏側に係止部材である複数の面ファスナーが取り付けられている。各隅に取り付けられた面ファスナーは対象に配置されており、以下一隅に置いて説明する。

【0015】本体2の表側には表雄ファスナー4a、表第一雌ファスナー4b、表第二雌ファスナー4cが、すべて一辺の第一折目6より外側に配置されている。表雄ファスナー4aと表第一雌ファスナー4bとは、隣り合う辺の第一折目6に対して対象に配置されている。また同様に表雄ファスナー4aと表第二雌ファスナー4cとは、隣り合う辺の第二折目7に対して対象に配置されている。

【0016】本体2の裏側には二組の面ファスナーである裏第一雌ファスナー5a、裏第一雄ファスナー5b、裏第二雄ファスナー5c、裏第二雌ファスナー5dが取り付けられており、それぞれ対角折目8に対して対象に配置されている。裏第一雄ファスナー5aと裏第一雌フ

(3)

特開平10-329611

ファスナー5bは第一折目6の本体2隅側に隣接し、裏第二雄ファスナー5cと裏第二雌ファスナー5dとは第二折目7の本体2隅側に隣接して配置されている。

【0017】次に、上記の如く構成された荷室用シート1の使用形態について説明する。まず第一の使用形態に於いては図2に示すように、第一折目6及び対角折目8を内側へ折り込み、裏第一雄ファスナー5aと裏第一雌ファスナー5bとを貼着させる。さらに表雄ファスナー4aと表第一雌ファスナー4bとを貼着させれば、本体2の第一折目6よりも外側が立設され、上面の解放された箱形を形成することとなる。

【0018】また第二の使用形態に於いては図3に示すように、第二折目7及び対角折目8を内側へ折り込み、裏第二雄ファスナー5cと裏第二雌ファスナー5dとを貼着させる。さらに表雄ファスナー4aと表第二雌ファスナー4cとを貼着させることにより、本体2の第二折目7よりも外側が立設され、上記第一の使用形態よりも壁面が高く設置面積が狭い箱形を形成することとなる。

【0019】また第三の使用形態に於いては図4に示すように、本体2の周辺に取り付けられた紐3を引き絞ることにより、袋状にすることができる。この状態に於いては内部に道具類を包むことができ、また紐を持って移動するのに簡便となる。

【0020】従って図5に示す如く空間の広いRV車10のラゲッジルーム10aに設置する際には荷室用シート1を第一の使用形態を以て形成し、ラゲッジルーム10aの面積を有効に利用することができる。また空間の狭いセダン系の車両11のトランク11aに設置する際には、第二の使用形態を以て形成する事により設置面積を狭くすることができ、面積の狭いトランク11aにも容易に設置することができる。

【0021】このようにして設置した荷室用シート1に汚れたり濡れたりしている道具類を収納することにより、荷室であるラゲッジルーム10a又はトランク11a内を汚すことを防ぐことができる。

【0022】また荷室用シート1は本体2が可撓性を有するシートにて構成されていることから折り畳み可能であり、容易に回収し、且つコンパクトに収納することができる。

【0023】なお本体2の素材としては可撓性及び防水性を備えたものであれば特に限定するものではなく、例えばナイロン系の織物に塩化ビニールをコートしたものや、帆布にゴム引きしたもの等があげられる。また折り畳んだり、曲げたり、丸めたりすることが同時に可能であればよく、必要があれば生地自体が収縮可能なものでも良い。

【0024】また、上記実施形態に於いては係止部材として面ファスナーを用いて示したが、ホックやフック、またはこれらと面ファスナーとの組み合わせ等を用いることでも良い。

【0025】また上記実施形態に於いては第一の使用形態と第二の使用形態として示したように二段階に折目を設けて示したが、係止部材の配置によってさらに他段階の折目を設けることでも良い。これにより、対応できる車種を増加させることができる。

【0026】

【発明の効果】上記の如く構成したことにより、本発明に係る荷室用シートは、各隅に設けられた複数の係止部材を互いに係止させることによって略箱形状に整形することができる。また係止させる係止部材を選択することによりその箱形状を変化させることができるため、面積の広いRV車のラゲッジルームや面積の狭いセダン系のトランクルームにも簡単に設置することができる。これにより荷室内に使用した器具類を収納となると共に、防水効果が発揮されて車両の荷室の汚れを防ぐことができる。

【0027】また、可撓性を有する本体の周辺に紐を通して構成したことにより、本体中央部に使用機材を置いたまま紐を引くことによって略袋状にもなり、持ち運びにも簡便である。また未使用時には簡単に折り畳むことが可能であり、収納に大きな場所を必要としない。

【0028】また部品数が少なく構造が簡単であることから、廉価に市販することが可能なことも合わせて特徴とする。

【図面の簡単な説明】

【図1】本実施形態に係る荷室用シートの全体図である。

【図2】第一の使用形態を説明する図である。

【図3】第二の使用形態を説明する図である。

【図4】第三の使用形態を説明する図である。

【図5】第二の使用形態における使用例を示す図である。

【図6】第三の使用形態における使用例を示す図である。

【符号の説明】

- 1 …荷室用シート
- 2 …本体
- 2a …ハトメ
- 3 …紐
- 4a …表雄ファスナー
- 4b …表第一雌ファスナー
- 4c …表第二雌ファスナー
- 5a …裏第一雄ファスナー
- 5b …裏第一雌ファスナー
- 5c …裏第二雄ファスナー
- 5d …裏第二雌ファスナー
- 6 …第一折目
- 7 …第二折目
- 8 …対角折目
- 10 …RV車

(4)

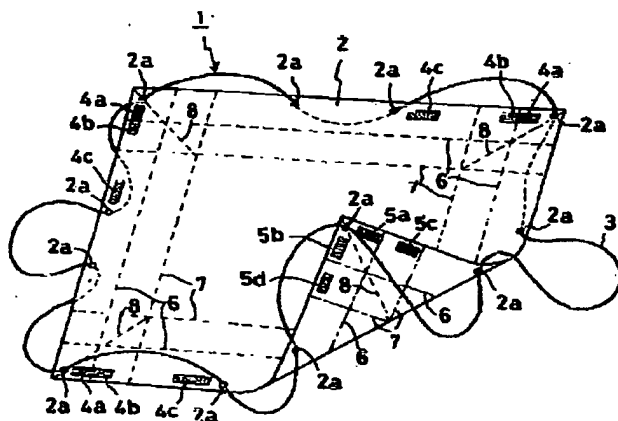
特開平10-329611

10a ...ラゲッジルーム

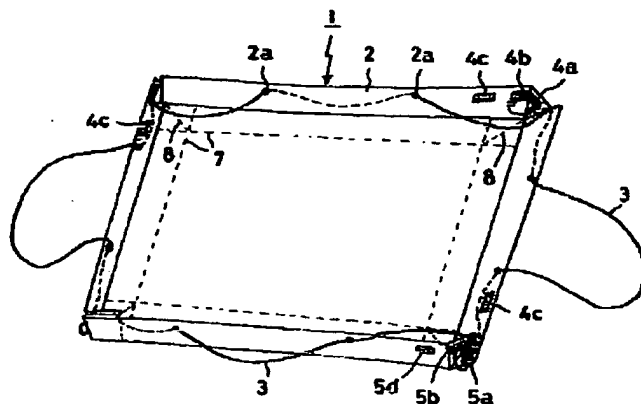
11a ...トランク

11 ...セダン系の車両

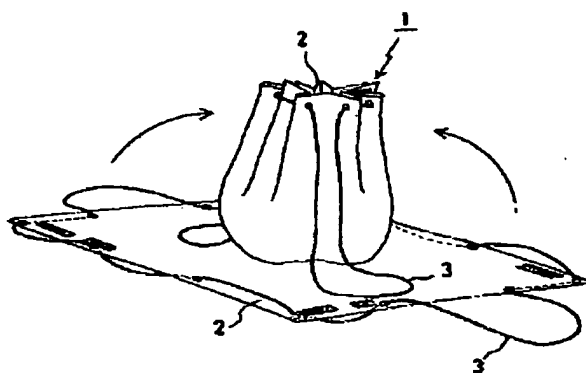
【図1】



【図2】



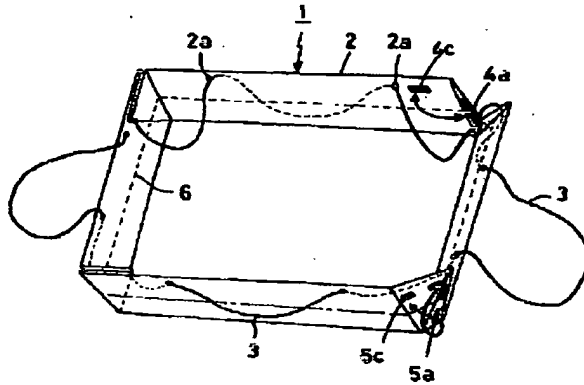
【図4】



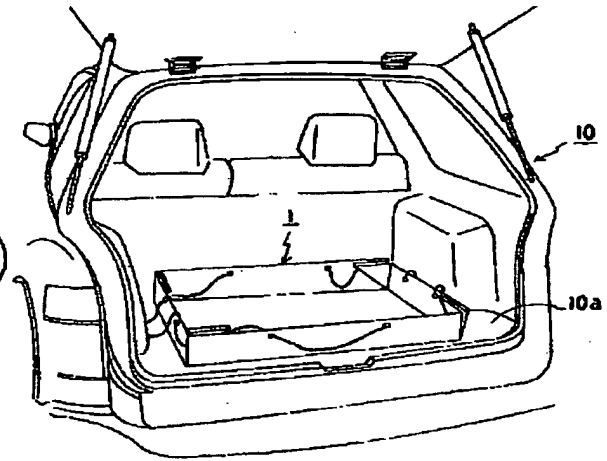
(5)

特開平10-329611

【図3】



【図5】



【図6】

